

# 「やさしい日本語」のおもてなし、始まっています。



「日本に来たら日本語を話してみたい」そんな海外の方が、実はたくさんいます。

そこで柳川市は、日本で初めて外国人観光客を「やさしい日本語」でおもてなしする活動、「やさしい日本語ツーリズム」を始めました。日本人同士が話すことばは、外国の方にはむずかしいようですが、ちょっと工夫するだけでわかりやすくなる。それが「やさしい日本語」です。おもてなしは、英語でなくていいんです。



柳川市は「やさしい日本語」のおもてなしに取り組んでいます。

# 柳川市は、日本で初めて 「やさしい日本語ツーリズム」に 取り組んでいます。



柳川市は「やさしい日本語ツーリズム研究会」と協力してこの事業に取り組んでいます。



## 「やさしい日本語ツーリズム」とは？

近年、日本を訪れる外国人の方は急増しています。2016年は約2千4百万人。アジア各国をはじめとして、世界各地からの旅行客が日本にやってきていることは、テレビはもとより、みなさんも身近に感じているのではないでしょうか。2020年のオリンピックを控え、これからもどんどん日本への来訪者が増えていくでしょう。そこで、外国から訪れた方々のために、日本語の初心者にもわかりやすい、「やさしい日本語」で会話をし、おもてなししようというのが「やさしい日本語ツーリズム」。これに柳川市が日本で初めて取り組んでいます。



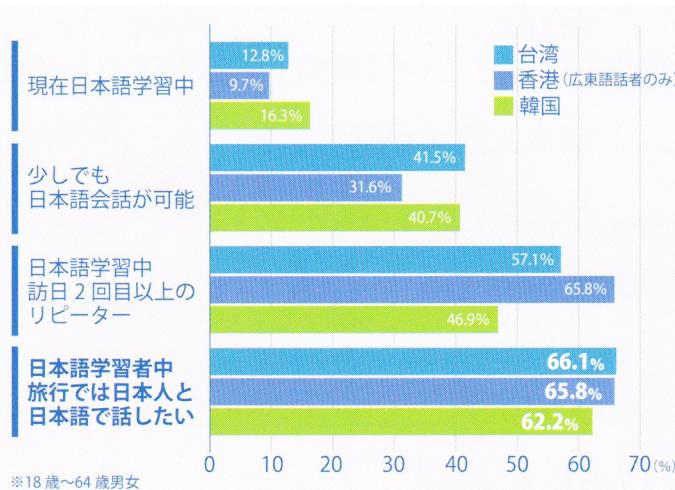
## 英語でなくて、いいんです。

とかく日本人は、外国人の人と見たら英語で話さないといけないと思いがちです。でも、あなたがもし外国に行く時は、少しでも現地の言葉を覚えて現地の人と話ができるならいいな、と思いませんか？ 旅の楽しみはその国で「見る」「食べる」のほかに現地の人と「交流する」ことも、大きな要素です。日本に来る外国の方の中にも、そう思っている人が多いのではないでしょうか。外国人だから「英語でないといけない」と尻込みしてしまったら、相手はがっかりするかもしれません。でも日本語で、それも「やさしい日本語」でいいとしたら、どうでしょう？



## どうして、日本で初めて柳川ではじまったの？

### 日本語学習者に関するアンケート



国際交流基金・電通調査（2016）

柳川市を訪れた外国人観光客は、2015年に約15万人。そのうちの半数以上の約8万人が、台湾からのお客さまです。台湾では独学や趣味で日本語を学んでいる人が多く、アンケートによると全体の42%の人が「少しでも日本語が話せる」と回答しています。台湾人3人のグループがいれば、8割の確率でだれか日本語を話す人がいるという計算になります。柳川にはアジアからの観光客が多く、その中には日本語を学んでいる人も多くいます。むしろ英語で話すのは苦手な人も多いはず。だから柳川市に来られる外国人と「やさしい日本語」で会話できる可能性はとても高いのです。





やさしい日本語講演会



2016  
10/8

柳川高校で東京外国语大学の荒川洋平教授を迎えての「やさしい日本語」講演会。「やさしい日本語」は普通の日本語とどこが違うのか、外国人に対してやさしい日本語を話すコツ、気をつけるべきことなど、柳川市民が初めて知ったことばかりでした。これから「やさしい日本語のまち・柳川」を目指すうえで大変貴重なお話をいただきました。



2016  
8/25

台北駐福岡経済文化弁事処長の戎義俊処長をお迎えし、事業開始にあたってのキックオフミーティングが開かれました。台湾での日本語学習者に関する調査結果の発表。戎処長より、台湾と日本の歴史的なつながりの説明、柳川の「やさしい日本語ツーリズム」への期待が寄せられ、金子市長がこれからの交流促進、やさしい日本語ツーリズムを進めていくにあたっての抱負が語されました。



2016  
10/8

やさしい日本語落語

「やさしい日本語講演会」のあと、英語落語で有名な桂かい枝さんをお迎えしての、日本初「やさしい日本語落語」公演が行われました。この日のために用意していただいた、わかりやすい日本語による小噺や古典落語に、会場に集まった市民はもとより、留学生たちも大爆笑。言葉さえ通じれば、笑いは世界共通だと認識させられました。そのあとは、笑いで暖まった会場で、懇親会が行われました。



台湾プレゼンテーション



2016  
11/10~12

日本語学習者が200万人以上、日本語を少しでも話すことができる人が4割もいる台湾。柳川市の「やさしい日本語ツーリズム」について関係各所に説明とプレゼンテーションを行うために訪問しました。台湾大学の日本語文学関係学科はじめ、日本語教育関係者や行政関係者を前に、柳川市の魅力を伝えるとともに、大学生に対して柳川まり作りのワークショップを開催しました。



2016  
11/21~12/5

やさしい日本語リーダー養成講座

「やさしい日本語ツーリズム」が柳川市に定着するためには、市民が「やさしい日本語」で話すようになる必要があります。リーダー養成講座では、交通機関や観光業の方々を中心に集まっていただき、実例を交えながらやさしい日本語を習得してきました。最終日には、柳川高校の留学生たちを相手にその成果を試し、受講者には修了証が授与されました。



実証実験



2016  
12/8~10

日本語を勉強している台湾の男女6名の方々に、実際に柳川を訪れていただき、「やさしい日本語」によるおもてなしを検証しました。川下りや白秋生家など各地を巡りながら、リーダー養成講座受講者による「やさしい日本語」での会話を実践。台湾のみなさんの日本語のレベルはさまざまでしたが、相手に合わせたやさしい日本語の会話で、とても満足していただいた様子でした。



郭獻尹さんが柳川観光大使に就任



2017  
2/13

台湾の東吳大学日本語講師の郭獻尹さんは、フェイスブックで5万人の仲間を持つ「日語勉強会」を主催し、今回の柳川「やさしい日本語ツーリズム」事業にも全面的に協力していただきました。このたび柳川観光大使への就任を依頼したところ、快くお引き受けいただき、2017年2月13日に柳川市役所にて就任式を行いました。これから台湾で、やさしい日本語の街・柳川をさらにPRしていただきます。

# 「やさしい日本語」講座

「やさしい日本語」といっても、実際に話すのはそう簡単ではありません。  
日本語の初心者にも通じるように話すには、それなりの工夫や配慮が必要になってきます。  
それではどんなことに気をつければいいのでしょうか。

## POINT 1

### やさしい日本語のコツは「は・さ・み」

まずは、ハサミのように切れ味のいい話し方です。「はっきりと」「さいごまで」「みじかく」を心がけます。

#### はっきりと

口を大きく開けて、明瞭に、ゆっくりと発音します。  
みなさんが英語を聞き取る時のこと  
を想像してみてください。ゆっくり、  
はっきりがいいですよね。

#### さ いごまで

あいまいな表現でなく、伝えたいことを最後まで言い切ります。  
日本人同士の「察する」ことは、  
日本語初心者には無理なことです。

#### みじかく

長い文章だと意味が伝わりにくい  
ものです。  
「〇〇です」「〇〇します」など、  
短く区切って伝えます。

## POINT 2

### 外来語や漢字熟語はなるべく使わない

「OL」や「育休」など、日本独特のカタカナ言葉や熟語、略語などは  
外国人にとってはとてもわかりにくいものです。言葉をあまり知らない  
子どもと話すように、わかりやすい言葉を選んで使います。でも、  
相手は大人。子ども扱いは禁物です。

昼食・ランチ お昼ごはん  
開始・スタート はじめり  
案・アイデア かんがえ

## POINT 3

### 尊敬語や謙譲語は、いりません

敬語もまた、初心者にとっては理解しづらいものです。日本人同士であればちょっと失礼に思われるかもしれないような  
直接的な表現の方が、外国人には伝わりやすくなります。  
「です」「ます」を語尾につければ十分です。

「おいでになってください」「来てください」  
「お召し上がりになりますか」➡「食べますか」  
「お買い求めになります」「買えます」

### 「やさしい日本語」を習うには

2016年度の事業で、観光にたずさわる方々を中心に、柳川市に50名以上の「やさしい日本語養成リーダー」  
が誕生しました。あなたの周りにいるリーダーの方からコツや体験談を聞いてみてはどうでしょう。  
柳川市では2017年度以降も継続してこの取り組みを行う予定です。あなたもぜひ「やさしい日本語」を習って、  
外国の方との日本語での交流にチャレンジしてみましょう。

